多摩支部ってどんなとこ?

- 多摩支部 連載 -

第2回 多摩はよいとこ一度はおいで

東京弁護士会多摩支部支部長 中嶋 靖史(47期)



国営昭和記念公園(立川市)にて

多摩, ここは東京か?

荏原郡碑衾村と聞いてどこか分かる人はいったいどれくらいいるだろうか。碑文谷と聞けばピンと来る人がいるかもしれない。東急東横線の学芸大学駅と都立大学駅の間に位置するところで、高級住宅街といわれているところである。警察署もあるので行かれたことのある人も多いであろう。そう、かつてここは村だったのである。村から町に変わったのはなんと昭和2年のことである。学芸大学駅から4駅行ったところが渋谷である。渋谷が町になったのは明治42年である。その前は豊多摩郡渋谷村であった。なんと明治42年まで渋谷は村だったのである。

「多摩」のことを紹介するはずなのに、なぜ、目黒や渋谷の話などをするのか、と思われる方もいるであろう。みなさん、「多摩」といってどのようなイメージを持たれるだろうか。田舎、地方、自然豊か、そんなイメージではないだろうか。私は23区で生まれ育ったこともありずっとそんなイメージを抱いていた(多摩の方ごめんなさい)。私は小金井市にある高校に高田馬場から通っていたが、当時は「ここは東京じゃない!」と思っていた。

多摩は進んでいる!

「多摩」に存在する五日市、青梅、八王子、誰でも一度は聞いたことがあるであろう地名である。これらの地が町になったのはいつだか御存知であろうか。なんと明治22年、渋谷がまだ村だったときに既に町であった。渋谷にさかのぼること20年も前に町になっていたのである。碑文谷に至っては五日市が町になってからおよそ40年もたってようやく町になったのである。そう、「多摩」は決して田舎で

はないのだ! 渋谷や目黒なんかよりよっぽど進んでいたのだ!

昭和43年五日市のとある民家の土蔵から憲法の 草案が見つかった。これは明治14年に起草された ものである。伊藤博文がヨーロッパに渡って憲法の 調査に行ったのが明治15年、大日本帝国憲法が公 布されたのが明治22年であるから、それよりも前 に五日市で憲法の草案が作られていたのである。多 摩はその一部が神奈川県になったり、東京都にな ったり変遷を重ねている。その理由は多摩川の水 の奪い合いといわれているが、一説によると多摩地 域では自由民権運動が活発に行なわれていたため、 時の政府はその勢力をそぐためにこのようなことを したともいわれている。この憲法草案もそのような 運動の一環として作られたものである。この草案は 「日本帝国憲法」という表題で書き始められている が、発見された場所にちなみ「五日市憲法」と呼 ばれている。人権感覚に優れた規定も盛り込まれ ており、是非御一読いただきたい内容である。

青梅は多摩川が目の前を流れ、五日市は秋川が 直ぐそばを流れる。秋川はもう少し下流で多摩川 と合流する。このあたりは山林資源に恵まれる場 所である。エネルギー革命が起きる前は材木は燃 料になり資材にもなる物資であった。今の原油と 同じである。山から木を切り出し、筏に組んで川 で運搬する、オイルマネーならぬウッドマネー、 こうして経済的にも非常に栄えていたのであった。 もう多摩は田舎だなんていわせません!

各地の歴史

八王子

もとは甲州街道の宿場町として栄えたところである。 江戸時代から絹織物が盛んで養蚕業も営まれ ていた。明治になり絹を輸出するようになると八王 子から横浜まで絹の道が作られた。また、明治41 年には八王子から東神奈川まで鉄道が敷かれた。 それが今の横浜線である。このように八王子は絹の 町として栄えたため「桑都」と呼ばれている。八 王子は多摩地区では非常に重要な町であり、多摩 地区の中心である。八王子が市になったのは大正 6年、これに対して新宿が市になったのは大正9年、 渋谷に至ってはなんと昭和7年である。そして、12 年前までは裁判所の支部も八王子にあった。

立 川

ここはブラタモリで有名になった河岸段丘である。河岸段丘の特徴の一つである広大な平地すなわち段丘面が駅北側に広がっており飛行場を作るにはもってこいの地形であった。そのため戦前は日本軍の飛行場があり、戦争に負けてアメリカに取られて米軍基地となり、返還後は公園、商業施設、学校、病院、行政施設など様々な機関が多数存在している。裁判所も12年前八王子から移転して現在は立川支部となっている。それに合わせて検察庁も立川に支部を移している。このように立川駅北側は広大な平地であり、空がとても広い。天高くヒバリがさえずっている。裁判所に行かれた帰りには是非立川の広い空を見上げてほしい。

広い大地の南の端は崖線となっており、その先 に多摩川が流れている。河岸段丘の特徴として段 丘崖の下には湧水が出ていることが多い。立川の 崖線も湧水が至る所にある。川があり水が湧くので、 人々はそこに集落を作り生活をすることになる。 そ のため立川駅の南側はあちこちに古墳がある。なん と1353年に創建されたお寺に現存する、1361年に 作られた六面石幢という国宝が立川にはあるのだ! また、日本の学制は明治5年にできたがその2年前 に郷学校と呼ばれるものが立川にでき、それが現在 の立川市立第一小学校である。日本で3番目に古 い小学校で東京都内では一番歴史のある小学校で ある。また、立川には富士見町と名付けられた地 区があり、その名の通り富士山が綺麗に見える。 立川駅からは少し距離があるが、是非脚を伸ばして ほしい。多摩川の土手から見る富士山は絶景である。



立川から見た富士山

心折れ真白き富士に救われる ちなみに1353年当時銀座は海の底,銀座が陸地 になるのはそれから約250年後である。

町 田

多摩川の南側は小高い丘が連なる。多摩丘陵と 呼ばれているところである。我が母校中央大学の 脇をとおりこの小高い丘の峠を越えた先が町田で ある。このような位置にあるため、中継地として 栄えたようである。ここは東京都なのになぜか鎌倉 街道と名付けられた道がある。それはなぜか。そう 「いざ鎌倉」のときにここを通って鎌倉に向かった からである。かの新田義貞も鎌倉幕府倒幕のため 北関東から鎌倉に攻め入る際この道を通ったとの ことである。町田市は神奈川県内に半島のように 突き出している。そのためか、町田は神奈川県? とよく言われることがある。かくいう私も町田簡裁 に郵便を出そうと思い住所を調べようと裁判所の ホームページを見たがいくら探しても見つからなか った。あれ?おかしいな?と思いよく見たら横浜 地裁管内のページを見ていた。町田の方ごめんな さい。でも、町田は神奈川県だったときもあったん ですよ。

多摩は素敵!

「多摩」には他にもまだまだ魅力的な場所がたく さんあるが、紙面の都合で残りはまた別の機会に 委ねたい。

「多摩」はこんなに素敵なところである。是非多摩 に来られた際はこのような多摩の魅力をじっくりと 堪能していただきたい。